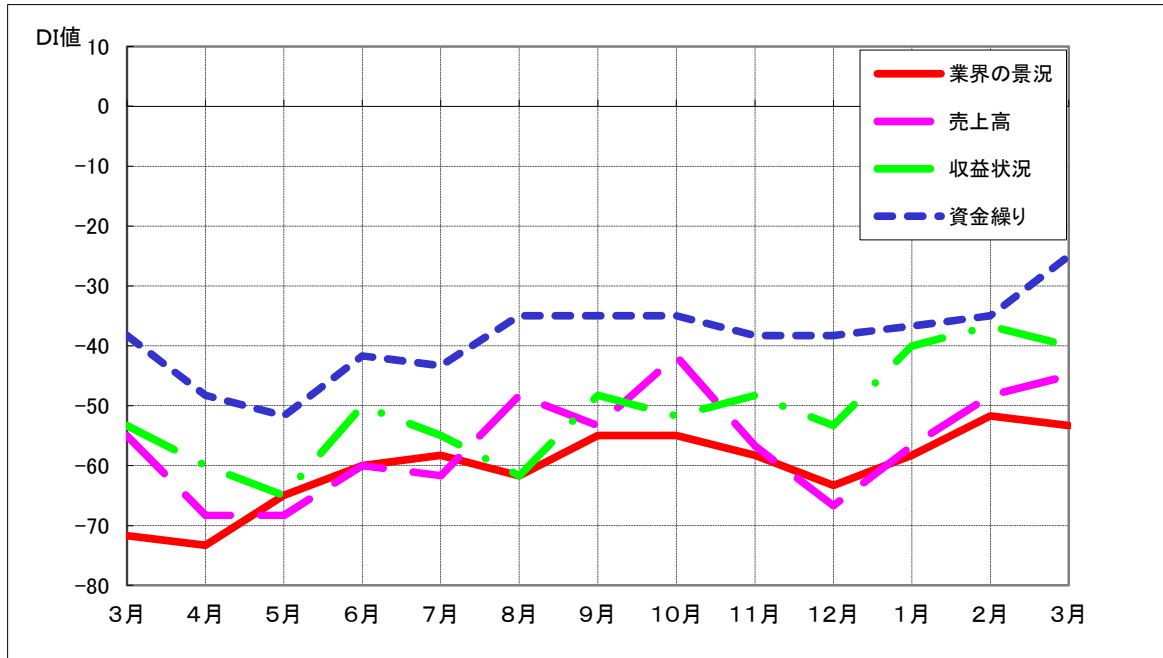


業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値 令和2年3月～令和3年3月

単位:ポイント



	R2						R3						
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
業界の景況	-71.7	-73.3	-65.0	-60.0	-58.3	-61.7	-55.0	-55.0	-58.3	-63.3	-58.3	-51.7	-53.3
売上高	-55.0	-68.3	-68.3	-60.0	-61.7	-48.3	-53.3	-41.7	-56.7	-66.7	-56.7	-48.3	-45.0
収益状況	-53.3	-60.0	-65.0	-50.0	-55.0	-61.7	-48.3	-51.7	-48.3	-53.3	-40.0	-36.7	-40.0
資金繰り	-38.3	-48.3	-51.7	-41.7	-43.3	-35.0	-35.0	-35.0	-38.3	-38.3	-36.7	-35.0	-25.0

3月のDI値は前月と比べ、2項目改善、2項目悪化であった。「資金繰り」DI値は10.0ポイント、「売上高」DI値は3.3ポイント、それぞれ改善、「収益状況」DI値は3.3ポイント、「業界の景況」DI値は1.6ポイントそれぞれ悪化した。前年同月比でみると、全項目で改善し、「業界の景況」DI値は18.4ポイント、「収益状況」DI値及び「資金繰り」DI値はそれぞれ13.3ポイント、「売上高」DI値は10.0ポイントそれぞれ改善した。

連絡員からは、引き続き新型コロナウイルスの影響による報告が寄せられている。12月、1月、2月と引き続き全項目で改善が見られたが、3月に入り「業界の景況」と「収益状況」に悪化が見受けられる。その他には「資金繰り」が令和2年度中で初めて-30から-20ポイント台へと改善が見られた。

全体的に「売上高」は徐々に回復してきており、製造業においては春の季節商品が売れ始めるなどの点が見受けられる。非製造においては前年同月比と比較すると売り上げは回復してきているが、引き続き厳しい状態が続いている。

組合からの特記事項としては、製造業においては今年度はターゲットを巣ごもり消費に定めてマーケティングを行うなどの工夫が見られた。また、園芸やアウトドア、キャンプ用品等の製品の売上は、販売シーズンに伴い活況を取り戻しているが、官公需の需要が多い生コン製造業や建設設計業等については需要の減少から減収が見られる。

非製造業においては、以前として飲食業やホテル業の売上の確保が困難であるが、その他にも化粧品小売業、ビルメンテナンス業など、生活様式の変化と外出自粛による新型コロナウイルスによる需要の変化が広範囲にあらわれており、減収が続いている。

3月に入り、新潟県でも新型コロナウイルス感染者が増えていることから、人の動きが止まりしばらくはこの状況が続くものと予想されている。